

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

拠点校指導教員

評価領域		着眼点
I 教科等に関する研修	指導計画の作成・改善に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領を踏まえ、教科の目標や内容を的確に捉えるとともに、児童生徒の実態に即した指導計画を作成させている。 ・常に教材を吟味検討するよう指導し、研究改善していく姿勢を持ち続けるよう教材研究の基礎基本を指導している。 ・道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間の教育的意義、指導計画の作成等について実際に即した指導を行っている。
	学習指導と評価に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・示範授業、授業研究、初任者授業公開を十分に計画・実施し、教科指導等における基礎的技術の習得に努めている。 ・発問、指示、児童生徒への対応等を含む初任者の授業力を向上させている。 ・ワークシートやペーパーテストの作成、児童生徒の学習状況の観察の方法など具体的な評価のための技術を習得させている。 ・初任者の資質・能力や学校の実態にあわせた具体的な指導・助言を行っている。
II 学級経営・生徒指導等に関する研修	学級経営、生徒指導等に関する指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の意義、学級組織づくりや教室環境づくり、児童生徒による活動の運営などの実際の工夫、保護者との連携、事務処理などの基本的事項について日常の業務を通し指導し定着させている。 ・各学校行事の立案・運営・評価にできる限り参画させながら、その意義やあり方を理解させるよう配慮している。 ・生徒指導・進路指導について、その意義を理解させるとともに、日常の教育活動を通してガイダンス機能や教育相談の重要性など基礎的事項の指導を行っている。 ・初任者との日常的な相談の中で、解決に向けた考え方や対応の具体例を提示し、指導を行っている。
III 基礎的素養に関する研修等	基礎的素養に関する指導・助言 校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は目的達成のための組織体という観点から学校運営全般に関する事項の指導を行い、初任者に責任を果たそうとする態度を育成している。 ・教師としての心構え、法令遵守等、教員としての基礎的素養等に関する研修内容を計画的、継続的に指導している。 ・特別支援教育の制度と具体的な取組みの状況を理解させている。 ・拠点校及び兼務校の校長や校内指導教員等と協力し、効果的な研修を進めている。 ・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。